

平成 28 年 第 10 回定例教育委員会会議録

- 1 招集年月日 平成 28 年 10 月 31 日 (月) 14 時 00 分～
- 2 招集場所 役場別館 2 階会議室
- 3 出席委員 黒川教育長、舩委員、齊藤委員、山之内委員、十時委員
- 4 事務局出席者 水本次長、山田参事、濱村指導主事、江田次長補佐、林枝係長
- 5 会議録署名委員の指名 齊藤 富美子 委員
- 6 前回の会議録の承認 平成 28 年 第 9 回定例教育委員会 (9/26)
- 7 教育長報告
- 8 報告事項
 - (1) 前佐々町郷土資料館収蔵品保存方法検討委員会
第一次答申について
 - (2) 名義後援について
 - (3) 行事関係報告について
 - (4) その他
 - ・オアシスルーム活動状況報告
- 10 その他
 - (1) 次回開催日程 平成 28 年 11 月 28 日 (月) 14 時 00 分～
 - (2) 場 所 佐々町役場 別館 2 階会議室
 - (3) そ の 他

<審議の経過（要約）>

教育長	ただ今から、平成 28 年第 10 回定例教育委員会を開催します。
教育長	5 会議録署名委員の指名 本日の会議録署名委員を指名します。齊藤 富美子委員をお願いします。
教育長	6 前回の会議録の承認 前回の「平成 28 年第 9 回定例教育委員会会議録」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
教育長	今、説明がありましたが、質問等、お尋ね等ございますでしょうか。 (「なし」の声あり。)
教育長	ないようでしたら承認することといたします。
教育長	7 教育長報告事項 次に、教育長報告に入ります。
教育長	(1)教育長の主な行動 9月27日火曜日から29日木曜日が町議会の本会議でした。 9月29日木曜日、県教育委員会の人事説明会、教職員の異動についての説明会がありました。 9月30日金曜日、公立幼稚園研究協議会ということで、県下から50人程度のご参加をいただいて盛会に開催されました。また、図書ボランティアの打ち合わせ会をいたしました。 10月2日日曜日、さざなみ保育園の運動会が開催されました。 10月3日月曜日、町内校長研修会を開催いたしました。 10月4日火曜日、中体連駅伝大会がございました。練習の過程を通じて子供たちは、よく頑張ったと思っております。 10月5日水曜日、台風接近のため、幼・小・中、臨時休業をいたしました。 10月6日木曜日、町内教頭研修会を開催いたしました。 10月7日金曜日、小学校陸上記録会を佐々小学校において開催いたしました。自分の記録への挑戦ということで、みんな一生懸命走っておりました。佐々小学校のリレーのときのバトンパスがすばらしく、非常に印象に残っているところです。 10月8日土曜日、三柱神社の秋季例大祭でした。

教育長	<p>10月9日日曜日、町内バレーボール大会ということで、11チームの参加があり、大いに盛り上がっていました。</p> <p>10月10日月曜日、熊野神社の前夜祭がありました。</p> <p>10月11日火曜日、熊野神社御神幸式が行われました。</p> <p>10月12日水曜日、高齢者スポーツ大会ということで、開会式のみ参加をいたしました。この日から総務厚生委員会の決算委員会ということで、議会の委員会が開催され、27年度予算の執行状況について説明を行ったところです。</p> <p>10月14日金曜日、引き続き、総務厚生委員会が開催されました。また、前佐々町郷土資料館収蔵品保存方法検討委員会を開催し、第一次答申をいただいたところです。後ほど担当の方から報告いたします。</p> <p>10月15日土曜日、3校おやじの会ソフトボール大会が千本公園グラウンドにおいて開催されました。和気あいあいと楽しく活動、プレーをしておられました。</p> <p>また、長崎マジック協会の副会長に来ていただいて、子供を対象にわくわく講座を開催いたしました。子供たちが目を輝かせながら参加をしておりました。続いて、さざなみ保育園の子育て講座が開催されております。</p> <p>10月16日の日曜日、伝育坊綱引き大会が町民体育館で開催されました。各町内会の精鋭がそろって綱をお互いに引きながら親睦が深まったと思っております。</p> <p>10月18日火曜日、佐々小学校の学校訪問をいたしました。委員さんからもご意見をいただきましたように、昨年度からすると大きな改善が見られたのではないかと考えていますし、今後さらに改善が進むだろうと思っております。</p> <p>10月20日木曜日、交通安全協会のグラウンドゴルフ大会が開催されました。これは、秋の交通安全週間にあわせて開催する予定でしたが、台風で延期ということで、この日に開催されたものです。</p> <p>10月21日金曜日、総務厚生委員会の決算に関する総括が開催されました。</p> <p>10月22日土曜日、長崎まなび講座ということで、前松浦史料館館長を講師に迎え、松浦氏と平戸藩ということで講話をいただきました。非常に盛会で30名近くの参加があったところです。</p> <p>10月23日日曜日、佐々町婦人バレーボール大会が開催されました。これも各町内会を代表する婦人バレーボールチームが参加して盛会に開催されております。</p> <p>また、「さざ川のカブトガニを守る会」のさざ川の観察が開催されました。雨の中、20名程度の参加でした。</p> <p>10月25日火曜日、3校校長面談を実施いたしました。目標管理シートの目標達成状況についての面談でございました。それぞれの校長が、本当に頑張っておられるというのがひしひしとわかったところでございます。</p> <p>10月26日水曜日、口石小学校の訪問をいたしました。実践と結果、それが自信につながっている学校の姿が見られたのではないかと考えております。</p> <p>午後からは佐々小学校で、5年生の算数の研究授業を行いました。3校の先生方が佐々小学校に集まって授業後の研究協議をなさっていましたが、非常に意義のある内容の深い研究協議ができたと思っております。また、夜、体育協会理事会・競技部長会を開催しまして、今年は台風でかなり延期したり、中止</p>
-----	--

<p>教育長</p>	<p>になったりということがあり、その反省と県大会についての申し合わせをしたところでは。</p> <p>10月27日木曜日、公民館運営審議会を開催しております。公民館の運営上の課題等について話し合いを行ったところでは。</p> <p>10月28日金曜日、県の教育委員会との打ち合わせを行っております。これは教職員の人事関係についての打ち合わせです。</p> <p>10月29日土曜日、体力テスト&ニュースポーツ教室ということで、町民体育館でスポーツ推進委員さんによる講座が持たれました。14名の参加ということで、楽しく活動なさっております。</p> <p>10月30日日曜日、佐々幼稚園生活発表会が開催されました。半年前の入園式からしたら本当に成長したという感じがし、楽しい発表会だったと思っております。</p> <p>10月31日月曜日、定例教育委員会です。</p>
<p>教育長</p>	<p>(2)町内校長会指導事項等</p> <p>○全国学力・学習状況調査</p> <p>得点だけではなく、学習状況調査というのも同時に行われておりますので、その分析をして今後活かしてほしいと思っております。また、それぞれの学校で学力向上プランを作成しましたので、それを確実に実践してほしいということをご指導したところでは。</p> <p>○9月議会 一般質問</p> <p>今回、幾つか教育にかかわる質問がございました。要旨のみご報告させていただきます。</p> <p>一つが、教育委員会制度についてと教育施設整備等については、どうなっているかという質問でございました。新教育制度については総合教育会議が開催されるようになりましたので、深刻、重大ないじめ等の事案は、組織として総合教育会議が機能し始めたという位置づけになるのではないかと考えているところでは。</p> <p>また、教育施設の整備等についてはまだ検討中ではございますけれども、学校施設整備構想策定事業に着手をしているところでは。今年度中には大まかな構想をまとめようと思っております。続いて、いじめの現状と対策についてという質問がございました。現状ということで、昨年度の認知件数が20件程度ありました。全て解決をしています。内容的には、からかい、悪口などでしたが、本年度も8月末で10件程度のいじめが報告されておりますが、全て解決をしているという状況にあります。20件とか10件といいますが、今までの感覚で言うと多いという感じがいたしますけれども、これは平成17年度以前の「自分より弱い者に対して一方的に」「身体的・心理的な攻撃を継続的に加え」「一方的に強い者から弱い者に」「一方的に継続的に」というのが以前の定義でございました。これが25年6月、いじめ防止対策推進法によって「心理的または物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じている」という定義に改まったというところではございます。</p>

教育長

ですから、「たとえ1回であっても、内容がどのようなことであっても、対象となった児童等が心身の苦痛を感じている事案であれば、いじめという定義をするように」ということで町内3校が共通理解をし、対応をしているところです。このことは、より軽微な状態でいじめを認識して解決を図ることが重要であり、重大事案になる前の軽微なうちに丁寧な対応をということでこのような定義になったと思っておりますし、佐々町内ではそういう対応をしているところでございます。

なお、今後はいじめの発生件数が多いことを問題にするのではなく、見逃すことがないよう、また早期に解決するように学校を指導しているところです。こういう定義の中で、佐々町はいじめの対応をやっているというところを理解いただければと思います。

続いて、アクティブ・ラーニングということで本町の小中学校の運営、授業はどのように変わるのかという質問がありました。アクティブ・ラーニングというのは文科省が提案し始めた学びの方法でございますけれども、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」というような表現の仕方を行っています。

本町でやっております思考力、判断力、表現力を育もうとする授業の流れは、アクティブ・ラーニングと軌を一にするものであると理解しておりますし、そのような実践の中で大きな成果を上げていると私どもも整理をしているところです。

教育委員さん方も学校訪問でご覧になったように、以前の講義形式、一方的に板書しながら画一的に教えるという授業から、本町の場合は子供たちの主体的な学びを保障するというような授業スタイルに変わっていることをご理解いただいていると思っております。突然大きな変化があるということではありませんが、いずれにしろ新しい学習形態として、アクティブ・ラーニングについての研修を積む必要があるだろうと思っております。

また、本町の場合はICTが整備されていること、3校共同研究という組織が確立されていることが、今後、この研修を進めるに当たって有効になってくると思っております。

続いて、読書促進の環境づくりはどうするのかという質問でした。読書の環境ということで本町の図書館については、みなさんご理解あるように本町の図書室は3校とも書架コーナー、読書スペース、そして40人程度が座れる学習コーナーというふうに工夫されております。しかも、図書館に隣接するパソコン教室はインターネットができる環境下にありますので、調べ学習にも対応できるようになっています。

また、図書室司書の配置については現在、1名の図書室司書を中学校に配置し、小学校に1.5日、中学校に2日勤務をしていただいているところです。現在のところ、各校に1名という理想もございますが、各学校の要望は、どちらかというど特別支援教育の支援員等の配置を優先してほしいという声が強うございます。今後とも図書室司書の配置については考えていきたいと思っております。

司書教諭の配置については各学校1名以上、佐々小には5人、口石小には3人と多くの司書教諭が配置されているところです。

これは質問にはございませんでしたが、読書環境、読書の状況としては、27年度

教育長

の児童生徒の1人当たりの貸出し冊数が小学校で75冊、中学校で14冊でした。

大体、小学校で70冊、中学校で12冊以上というのが非常に良好な状態であると言えます。また同時に、小中学校の図書購入費及び金額について、県下の状況と比べてみますと、佐々小学校、口石小学校、佐々中学校は、決して県に劣ることない、むしろかなり勝った状況にあります。各校の校長、先生方のご意見、お話を伺っても、非常に恵まれているというお声をいただいているところです。

続いて、学校給食のあり方についてという質問がございました。これについては佐々町行政経営改革委員会からの答申において、給食センター方式ということが答申されております。その方向にのっとって考えていこうと思っておりますが、いずれにしても全体的に学校施設整備構想策定事業による検討結果を待って対応していきたいと思っております。この学校施設整備構想策定事業については結果がまとまり次第、定例教育委員会でご報告をしたいと思っております。

続いて、空調設備の完備についてという質問がありました。現在のところ、県下ではあまりエアコンは設置されていないというのが現状でございます。本町においても特別教室、パソコン室、図書室にはエアコンを設置しております。それを夏休み中の学習会で活用しているところです。また、特別支援学級は少人数であるということから、その寒さ対策として設置をしております。以前は石油ストーブを使っておりましたが、安全上問題があるということで、特別支援学級にはエアコンを設置しているところです。県下の設置状況は、島原市、そしてその周辺においては100%です。これは普賢岳火山灰対策として、国の災害補助金を受けて整備されているところです。その地区、島原市と南島原市を除いた普通教室のエアコン設置率は約1.8%という状況です。

ちなみに、本町の場合は小中学校を合わせて普通教室が49教室ございます。そのうちの8教室に整備されているということで、16%の設置率ということになります。8教室について、普通教室の中では佐々小が3、口石小が3、佐々中が2でございます。

○第2期教育振興基本計画

○学校評価ガイドライン

○コミュニティ・スクール佐々モデル

9月の定例教育委員会において、教育振興基本計画の骨子については、活動指標と成果指標に分ける方向で考えているということをご説明したと思っております。今、各学校に素案についての意見を聞いておりますので、次回の定例教育委員会には原案をお示しできるのではないかと考えているところです。

○気になっていること

・車両通行量の増加

現在、小佐々の工場団地の影響だと思われそうですが、ちょうど子供たちが登校する時間に四ッ井樋方面は、混雑がかなり激しいという状況にあります。

また、県道が混むので、すし店の裏の道や四ッ井樋の水門から裏に向かっていく狭い道まで車両が入ってきているということで、十分注意をするよう指導をお願いしたところです。

教育長

・英語教育

9月7日に、佐々中学校の1年生がハウステンボスで英語活動を行っております。これは県教育委員会の予算ということで、一日、実質は3時間程度ハウステンボスに行って、英語しか話さない時間をとったということでした。校長先生のお話を聞くと、英語しか話せないという追い込まれた状況の中で、どう対応するかという効果があったとのことでした。ただ、中学校1年生はまだ文法もよく知らない状況なので、ちょっと難しかったのではないかとというような話もありました。

・自殺予防

これはある町の中3いじめ自殺が長崎地裁に告訴されたという記事でございます。自殺予防の視点でも命の大切さ、重さについても話をしていく必要があるという話をしたところです。

・爆破予告

何度かご報告したと思いますが、これまでに類似の爆破予告が4回ほどあっております。「27時43分に爆弾を仕掛けた」ということです。ここ数週間は落ち着いているようです。模倣犯、愉快犯であろうと思われませんが、十分確認、注意はしておくようにということで話をしたところです。

・アクティブ・ラーニング

「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」というのが何を指すのか、今後どう研修を積んでいくのかということで、話をしたところです。

・次年度学級編制

教職員の定数のもとにあるのは学級数です。学級数も子供の数が1人でも変われば1学級変わる場合があります。十分に児童生徒数を把握しておくようにという話をしたところです。

○校長面談の実施

先ほども申し述べました目標管理シートに関する25日の校長面談の実施について連絡をいたしました。

○その他

エンテロウイルス関連ということで、この時期、十分注意をするようにというお話をしたところです。また、おたふく風邪といった、いろんな感染症について、常に危機感を持っておいてほしいという話をいたしました。

また、県警から出てくるサポート通信に、交通事故についてのグラフがありました。グラフを見ると7歳児がぐっと上っており、そして、その後減少するグラフでした。

7歳児、1年生の交通事故が非常に多いというデータが出ておりました。その原因としては低学年ほど無防備という状態にあるのではないかと、危険予知についてやはり未熟なところがあるのではないかと記事でした。小さい子はどうしても興奮したり、何か見つけると一筋にそこに行きます。ですので、繰り返し繰

教育長	り返し、「危ないこと」を指導をしてくださいというお願いをしたところです。
教育長	以上、町内校長会指導事項等についての報告です。何かご質問はございませんか。
教育委員	車両通行量の増加ということで、古川の保育園の前の道です。あそこがかなり高速に抜けるためにパチンコ屋さんから曲がる車が多いんです。その橋の下のほうは結構車で送っていらっしゃるお母さんたちが多いと思うんですけど、古川の道を子供たちはどのくらい通っているものですか。保育園の園長さんが「かなりこの道は飛ばすんです。」って言われたもので、あそこは歩道もないし、この前、溝があったのを溝に落ちないようにということで、ふたをした例はあるんです。
教育長	正確な人数については確認すればわかるんでしょうが、私どもも、朝、広報車で回る時は30人程度です。あの通学路は安全プログラムで危険箇所ということで上げてはいますが、物理的な拡幅というのは非常に難しいです。いわゆるハード面での改善というのは早急にはいかないでしょうから、現状では子供への注意や見回り、安全指導で対応するしかないと思っています。
教育委員	今の車両通行量の関連ですけど、棚方崎真申線のところのトンネルの供用開始はどうなっていますか。
教育長	9月21日に貫通式が行われました。年度内には開通すると聞いているところです。開通すれば少しは変わるかもしれません。
教育委員	通学路の関係です。この前、佐々小学校へ行きましたが、佐々小学校と清峰高校の間の給食室の入り口の横断歩道は雨の日に結構、生徒の送迎で車が増えます。一緒に歩いたときに危険を感じたので、何か対策が必要と思いました。
教育長	生徒の送迎については、佐々小と言わず、佐々中も口石小もそうだと思います。少なくとも次の校長会で、こういう御意見が出たので保護者に呼びかけをするように指導しておきます。
教育長	他にご質問ございませんでしょうか。
	(「なし」 の声あり。)
教育長	教育長報告を終わります。 次に報告事項に入ります。

事務局

8 報告事項

(1) 前佐々町郷土資料館収蔵品保存方法検討委員会第一次答申について

まず初めに、検討委員会の内容なんですけど、収蔵品の分類はされてはいますが、町の公民館の1室と技能訓練校です。大型の分は技能訓練校のに保管されており、文化財の適切な保存管理がなされているとはいえない状況にあります。その解決に当たって、収蔵品の保存方法についてどのような方法が適切なのかという視点、それから住民の方に佐々町の歴史を知っていただくためにはどうしたらいいのかという視点、この2点から保存方法の方向性について慎重な議論を行ってきたところです。

次に諮問文です。今後の方向性についてということと諮問の理由を記載をさせていただきます。内容に入ります前に、この検討委員会のメンバーのご報告をさせていただきます。

初めに、委員長です。この方は、県の文化財保護行政、いわゆる県の発掘等の専門の方でいらっしゃいました。今は退職していらっしゃいますけれど、この方を学識経験者として委員長にお迎えしているところです。

次に、副委員長です。町内会長さんです。

次に委員として3名、教育委員、元小学校の先生。元中学校の先生。この両先生につきましては、学校の社会科等の見学で以前はよく郷土資料館を使っていたというところもありましたので、委員としてご就任いただいているところです。合計5名の委員さんにご検討いただきました。

次に会議の経過です。計4回の検討委員会を行っております。

まず、第1回目を7月26日に行っております。ここでは委員長、副委員長の選出、設置要綱の説明と、今どういう状況にあるのかということで収蔵品の現状をごらんいただきました。それを踏まえ、第2回目の検討委員会ということで視察訪問を行っております。

8月24日、訪問先は3か所です。佐世保市の小佐々郷土館、それから世知原の炭鉱資料館、それから東彼杵町の歴史民俗資料館、計3か所の視察をしていただきました。大体、佐々町と同規模ですが、東彼杵町の施設はかなり大きいものです。収蔵品の現状、保管をされているのかという視点でご覧いただいたところです。

また、それが終わってから、佐々町に帰ってきて視察訪問を終えての意見交換を実施しております。その後、第3回検討委員会を9月9日の金曜日に行っております。ここでは展示及び保存方法について具体的に委員会様からご意見をいただきまして、それを第一次答申案にまとめる前の準備作業として委員会を行っております。

それを受けまして、次の第4回検討等委員会を今月、10月14日の金曜日に行っております。ここでは後でご報告します第一次答申案の作成を行っておりますが、計4回実施をしております。この計4回の検討委員会を踏まえまして、第一次答申案が出ているところです。大きく分けて4つの視点でまとめをしております。

まず一点目です。今の収蔵品は文化財的な資料は少なく、民俗資料が多いという

事務局	<p>意見を踏まえ、集客的な施設としての施設運営は難しく、新施設の建設は必要ないものと判断されるという答申です。</p> <p>二点目です。歴史を学習する場として町公民館の一部など、既存の町有施設等を活用して郷土資料の保管及び展示を行うと。その収蔵品については適切な保管を行い、資料の分類を行うということです。</p> <p>三点目です。小学生を主な対象とし、社会科等における郷土学習に活用できるような民俗資料の展示を中心としてはどうかと。もちろん、小学生だけ、子どもだけではなくて、一般の住民も郷土の歴史に興味を示すことができる展示方法を工夫することという答申です。</p> <p>保存する収蔵品の選定です。選定は前々年度、26年度に実施した分析調査の調査結果を踏まえて、民俗学、それから博物館学の専門家による現在の収蔵品の鑑定作業を実施すると。その鑑定作業を踏まえて郷土資料としての選別を行い、寄贈者への返却や、また廃棄について検討を行うことといただいております。</p> <p>最後に、その選定作業を実施した後、改めて、これは来年度になりますけれども、本検討委員会を開催し、選定の結果について報告を行い、保存する収蔵品を決定する。このような第一次答申をいただいているところです。</p> <p>今後のスケジュールですが、専門家の方に来年度、選定作業をしていただきます。そのリストを基にもう一度検討委員会で諮っていただいて、最終的にどのようなものを収蔵するか、また保存するかを決めていくという流れになっております。</p> <p>現在専門家として、県内の博物館学の権威がある先生を考慮しております。先生にお願いをしまして、作業を事務局と一緒にしていこうということで話を進めているところです。</p> <p>現在までの答申についての報告は、以上になります。よろしく申し上げます。</p>
教育長	<p>第一次答申が出されたわけですが、寄贈者への返却、廃棄というところが、またお知恵を拝借するところが出てくると思っております。少し整理をかけないと大変なことになっていくというのも事実でございます。やっと一定の方向性が出ましたので、この答申に従って私ども教育委員会、事務局も対応していきたいと思っております。</p> <p>この内容についてのご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」 の声あり。)</p>
事務局	<p>(2) 名義後援について 2件分について報告。</p> <p>(3) 行事関係報告について 10月及び11月の教育委員会の主なスケジュールについての報告。</p> <p>(4) その他</p>

事務局	<p>○オアシスルーム活動状況報告。 ○学力調査結果公表について報告。</p>
教育長	<p><u>9 その他</u></p> <p>次回の定例委員会は、11月28日(月)14時00分から別館会議室の予定です。 以上をもちまして、第10回定例教育委員会を閉会します。 (15時04分 閉会)</p> <p>上記のとおり会議の次第を記載して、相違ないことを証するためにここに署名する。</p> <p>平成28年10月31日</p> <p>教育長 黒川 雅 寿</p> <p>委 員 齊藤 富美子</p>

